



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月11日

上場会社名 株式会社山大 上場取引所 東
コード番号 7426 URL <https://www.yamadai.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 暢介
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 加藤 誠 TEL 0225-93-1111
半期報告書提出予定日 2024年11月12日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,567	△34.7	△244	—	△237	—	△238	—
2024年3月期中間期	2,398	1.7	△39	—	△30	—	△35	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△215.02	—
2024年3月期中間期	△32.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	5,798	3,355	57.9
2024年3月期	6,059	3,622	59.8

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 3,355百万円 2024年3月期 3,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,416	△1.4	△309	—	△294	—	△297	—	△267.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	1,187,368株	2024年3月期	1,187,368株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	76,529株	2024年3月期	76,529株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	1,110,839株	2024年3月期中間期	1,110,839株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報（2）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績及び財政状態に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間貸借対照表に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績及び財政状態に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用や所得環境等の改善により景気は緩やかに回復していますが、不安定な国際情勢の中、金融資本市場の変動等により、依然として不透明な状況が続いております。

住宅建築業界におきましては、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移しております。また、ウクライナ情勢の長期化等による資源価格等の高騰などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、改正木材利用促進法(脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律)が2021年10月1日に施行され、対象が民間建築物や中高層建築物を含む「建築物一般」に拡大されたこと、更に地球上で唯一の循環資源である木材を生かして「持続可能な開発目標 SDGs」の実現に貢献していくことを宣言いたしました。私たちは、「木材の温もりと笑顔あふれる社会」を目指し、非住宅建築の木造化を推進し、地産地消の認証木材や合板木材(クリーンウッド法)使用による森林保護や高性能住宅により二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化防止へ貢献してまいります。

住宅資材事業では、プレカット受注を営業戦略の柱として、建材・住設・エクステリア等のトータル受注を目指してまいりました。また、製材工場ウッド・ミルのブランドであります国産人工乾燥杉製材品「宮城の伊達な杉」の更なる普及や、2019年1月に選出された「第7回富県宮城グランプリ」を糧に宮城県内産業の発展や地域経済の活性化に努力してまいりました。

建設事業では、宮城の伊達な杉を使用することで木の本来の性質であります優しい質感と香り、調湿効果に優れ、ある程度の太さがあれば火にも強く耐久性があり、「優しさ」と「強さ」を兼ね備えた「楽しい暮らし、優しい暮らし。」の「楽暮」等と、選ばれた自然素材を採用し心身の健康を配慮した設計ノウハウと健康素材で、構成される住まいの提案と住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り年間に消費するエネルギー量が概ねゼロとなる、ZEH住宅等を拡販してまいりました。

この結果、当中間会計期間の売上高は、1,567百万円(前年同期比34.7%減)となりました。営業損失は244百万円(前年同期営業損失39百万円)、経常損失は237百万円(前年同期経常損失30百万円)、中間純損失は238百万円(前年同期中間純損失35百万円)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。(各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。)

ア. 住宅資材事業

大型木造物件と地域に根ざした営業展開を図るため地場工務店に対する営業活動に注力しましたが、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移し、また、原油等の資源価格の高騰や仕入資材等の価格の高騰により工場の製造原価率が上昇したこと等により、売上高1,373百万円(前年同期比15.2%減)、営業損失64百万円(前年同期営業利益82百万円)となりました。

イ. 建設事業

注文住宅等の競争が厳しく、売上高161百万円(前年同期比78.8%減)、営業損失69百万円(前年同期営業損失2百万円)となりました。

ウ. 賃貸事業

賃貸収入は、売上高32百万円(前年同期比70.0%増)、営業利益18百万円(前年同期比24.9%増)となりました。

財政状態は次のとおりであります。

ア. 資産

当中間会計期間末の資産は、5,798百万円となり、前事業年度末に比べ260百万円減少しました。これは主として販売用土地建物13百万円、建物及び構築物34百万円、機械装置及び運搬具47百万円増加した一方、完成工事未収入金210百万円、受取手形及び売掛金78百万円減少したことによるものです。

イ. 負債

当中間会計期間末の負債は2,442百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円増加しました。これは主として賞与引当金14百万円、その他の流動負債190百万円増加した一方、支払手形及び買掛金135百万円、長期借入金77百万円減少したことによるものです。

ウ. 純資産

当中間会計期間末の純資産は3,355百万円となり、前事業年度末に比べ267百万円減少しました。これは主として利益剰余金が266百万円減少したことによるものです。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月5日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更ありません。

なお、当該業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて行ったものであります。今後、経営環境の変化等により、当社の業績に影響を及ぼす可能性が生じた場合は、適切に開示してまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

（1）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092,722	1,086,399
受取手形及び売掛金	529,710	451,675
完成工事未収入金等	245,182	34,263
商品及び製品	219,058	245,224
仕掛品	188,251	183,420
原材料及び貯蔵品	73,184	66,526
販売用土地建物	412,297	425,353
未成工事支出金	20,541	4,656
その他の流動資産	53,397	30,551
貸倒引当金	△1,381	△493
流動資産合計	2,832,965	2,527,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	773,096	807,270
機械装置及び運搬具（純額）	40,424	87,826
土地	2,054,376	2,054,376
その他の有形固定資産	283,600	249,566
有形固定資産合計	3,151,497	3,199,039
無形固定資産	11,497	9,112
投資その他の資産	63,355	62,837
固定資産合計	3,226,350	3,270,989
資産合計	6,059,315	5,798,569

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,968	626,647
工事未払金	18,315	28,815
短期借入金	195,000	195,000
1年内返済予定の長期借入金	155,120	155,120
未払法人税等	-	4,208
賞与引当金	17,100	31,800
完成工事補償引当金	4,760	3,670
その他の流動負債	159,871	350,682
流動負債合計	1,312,136	1,395,943
固定負債		
長期借入金	759,240	681,680
退職給付引当金	200,220	203,363
その他の固定負債	164,773	161,899
固定負債合計	1,124,234	1,046,943
負債合計	2,436,370	2,442,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,103,184	1,103,184
資本剰余金	97,927	97,927
利益剰余金	2,420,612	2,153,988
自己株式	△54,312	△54,312
株主資本合計	3,567,410	3,300,786
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,139	8,501
土地再評価差額金	46,394	46,394
評価・換算差額等合計	55,534	54,895
純資産合計	3,622,944	3,355,682
負債純資産合計	6,059,315	5,798,569

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,398,979	1,567,274
売上原価	2,070,922	1,436,361
売上総利益	328,057	130,912
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△640	△310
給与手当	112,653	132,031
賞与引当金繰入額	13,334	15,530
退職給付費用	7,031	6,123
その他	235,152	222,274
販売費及び一般管理費合計	367,531	375,649
営業損失 (△)	△39,474	△244,737
営業外収益		
受取利息	116	159
受取配当金	1,450	1,626
受取助成金	2,510	1,538
仕入割引	2,812	2,232
その他	5,812	5,173
営業外収益合計	12,702	10,729
営業外費用		
支払利息	3,286	3,343
その他	18	125
営業外費用合計	3,304	3,468
経常損失 (△)	△30,077	△237,475
特別損失		
固定資産売却損	1,525	-
役員退職慰労金	400	-
特別損失合計	1,925	-
税引前中間純損失 (△)	△32,002	△237,475
法人税、住民税及び事業税	1,377	1,377
法人税等調整額	2,413	-
法人税等合計	3,790	1,377
中間純損失 (△)	△35,792	△238,852

（3）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間貸借対照表に関する注記）

※1 中間会計期間末日満期手形

中間会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が前事業年度末日残高に含まれておりません。

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
受取手形	15,902千円	－千円
支払手形	1,561	－
設備関係支払手形（その他の流動負債）	2,411	－

※2 投資その他の資産の金額から直接控除している貸倒引当金の金額

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
投資その他の資産	4,679千円	2,564千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間損益計 算書計上額
	住宅資材事業	建設事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,620,990	758,981	19,007	2,398,979	－	2,398,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	169,798	－	－	169,798	△169,798	－
計	1,790,789	758,981	19,007	2,568,777	△169,798	2,398,979
セグメント利益又は損失 (△)	82,603	△2,514	15,016	95,105	△134,580	△39,474

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額（中間会計期間△134,580千円）は全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等）であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間損益計 算書計上額
	住宅資材事業	建設事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,373,815	161,142	32,316	1,567,274	—	1,567,274
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,697	—	—	36,697	△36,697	—
計	1,410,512	161,142	32,316	1,603,971	△36,697	1,567,274
セグメント利益又は損失 (△)	△64,035	△69,554	18,761	△114,828	△129,908	△244,737

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額 (中間会計期間△129,908千円) は全社費用 (主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等) であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、2024年10月15日開催の取締役会においてビィ・エル・シー株式会社の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2024年11月1日付で全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 ビィ・エル・シー株式会社

事業の内容 建築材料・部材・建築内装材の生産・販売

② 企業結合を行った主な理由

ビィ・エル・シー株式会社は、首都圏を中心にツーバイフォー工法をはじめとした一般住宅向けの造作部材・室内ドアの規格化及び製品の販売を主要事業とする会社です。同社を子会社化する事により新たに内装建材販売事業を当社グループに取り込み、双方のお客様に各々の強み有る商材を提供する事を通じ宮城県外の拠点拡充がなされ、グループ相乗効果が見込める事から同社の全株式を取得し子会社化する事と致しました。

③ 企業結合日

2024年11月1日 (株式取得日)

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	340,000千円
取得原価		340,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 36,865千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。